

# 國學院大學学術情報リポジトリ

## 長野県下諏訪町方言のアクセント

|       |                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者:<br>公開日: 2023-02-07<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 中村, 明裕<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.57529/00001435">https://doi.org/10.57529/00001435</a>                       |

# 長野県下諏訪町方言のアクセント

中 村 明 裕

## 論文要旨

東西方言の境界地帯の東側に位置する<sup>ながの けんほうげん</sup>長野県方言のうち、<sup>しも す わまちほうげん</sup>下諏訪町方言の<sup>あく せん と</sup>アクセントについて記述する。その体系は<sup>とうきょうしき</sup>東京式<sup>あく せん と</sup>アクセントに属する。老年層の方言は次のような特徴を持つ。東京方言では類の対応から外れている「矢」「雲」が類の対応から外れていない。3拍名詞4類と5類に中高型の語が東京方言より多くある。起伏型動詞の否定形はデ[ネ]ー（出ない）のように/ネ/の後に下がり目がある。平板型形容詞の連用形に-タがついた形はア[カカッ]タ（赤かった）のように/カッ/の後に下がり目がある。平板型形容詞の終止形に-カなどの付属語が接したとき、ア[ケー]カ（赤いか）のように下がり目はその付属語の前である。本動詞の「置く」は平板型だが、補助動詞のテオクはキ[テ オ]ク（着ておく）のように起伏型になる。縮約形のトクもキ[ト]クのように起伏型になる。これらの特徴の多くは若年層においては<sup>きょうつう ご か</sup>共通語化によって失われつつある。

## 1. 本稿の目的と先行研究

本稿は長野県下諏訪町方言のアクセントについて記述することを目的とする。老年層のデータと東京方言との比較によって下諏訪町方言の特徴について述べたのち、若年層のデータとの比較によって年代差について述べる。

下諏訪町の近隣地域を含めた長野県の方言についての体系的記述は長野県編（1992）『長野県史 方言編』にまとめられている。長野県の方言のアクセントについての研究は、馬瀬良雄（1971、1992）、青木千代吉（1987）、田中宣廣（2005）等で行われてきた。そして下諏訪町方言についての詳しい記述は岩波泰明ら（2000）『下諏訪町誌 民俗編』「第十四章 方言」でなされている。アクセントについても、類別語彙の資料<sup>(1)</sup>が掲載されている。

本稿は、動詞の活用形や付属語が接した形についても報告し、若年層における変化も加えて、下諏訪町方言のアクセントに関する資料を提示する。

## 2. 調査地点

### 2.1. 位置

長野県諏訪郡下諏訪町の位置は図1のとおりである。下諏訪町は長野県のほぼ中央に位置し、南は諏訪湖に面し、北には和田峠・鷲ヶ峰があり、これらの山から流れ下る川の扇状地に発達した町である。西は岡谷市、東は諏訪市、さらに北は松本市・長和町に接している<sup>(2)</sup>。

諏訪盆地（下諏訪町、諏訪市、岡谷市）は山によって周囲と隔てられており、盆地の中ではほぼ均質な文化を有する。そのこともあり、多くの話者は、下諏訪町は諏訪市・岡谷市と方言的に等しいという意識を持っているようである。

都竹通年雄（1949）の方言区画では、長野県方言は本土方言の中の本州東部方言の中のナヤシ方言に含まれる。馬瀬良雄（2003）の方言区画では、下諏訪町方言は長野県方言を東北部・北部・東部・中部・南部に分けたうちの中部に属する。

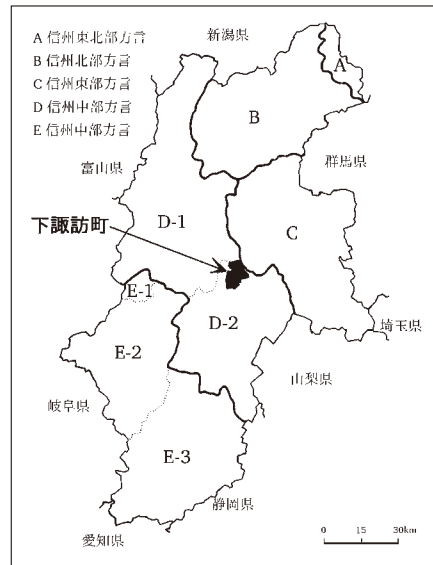


図1 下諏訪町の位置

### 2.2. 町勢<sup>(3)</sup>

推計人口は20,698人（平成26年10月1日現在）。昭和48年をピークに減少しつつある。世帯数は8,347世帯。面積は66.90km<sup>2</sup>。その多くが山林である。

産業については、戦前は製糸業、そして戦後は精密機械工業、観光業を中心に発展してきた<sup>(4)</sup>。農林業、漁業等も行われている。

### 2.3. 歴史<sup>(2)</sup>

下諏訪町の歴史は古く、縄文時代の遺跡から矢尻や土器が出土している。

江戸時代には中山道、甲州街道が合流する交通の要衝となり、中山道随一の温泉宿場町として賑わった。また全国に一万あまりの分社を持つ諏訪神社の総本社としても栄えた。

1874（明治7）年に7ヵ村が合併し下諏訪村となり、1876（明治9）年に筑摩県が廃止されて長野県の所管に入った。1893（明治26）年に町制を布いて下諏訪町と改称した。

1958（昭和33）年には隣の岡谷市の一部を編入、1983（昭和58）年に諏訪湖の面積を岡谷市・諏訪市と分割し、今日の下諏訪町を形成している。

1993（平成5）年には町制施行100年を迎えた。

### 3. 調査方法

調査は2013年10月6日から2015年9月7日にかけて行った。

紙に印刷した語形のリストを見せて読み上げてもらう方式と、語のリストを見せてその活用形や接辞がついた形を作ってもらう方式とを併用した。なお、アクセントの聞き取りの前提として、いくつかの音韻形式、文法形式についての簡単な聞き取りも同時に行った。

インフォーマント情報は次のとおり。出生地・生育地は全員諏訪郡下諏訪町。

| 記号 | 生年月日              | 調査時年齢 | 性別 |
|----|-------------------|-------|----|
| A  | 大正13（1924）年3月1日   | 89    | 女  |
| B  | 昭和11（1936）年1月12日  | 77    | 女  |
| C  | 昭和12（1937）年6月1日   | 76-78 | 男  |
| D  | 昭和15（1940）年3月5日   | 73    | 男  |
| E  | 昭和16（1941）年10月20日 | 72    | 男  |
| F  | 昭和31（1956）年7月27日  | 57-59 | 男  |
| G  | 昭和31（1956）年10月25日 | 56    | 男  |
| H  | 昭和35（1960）年5月7日   | 53    | 女  |
| I  | 昭和63（1988）年7月11日  | 25    | 男  |
| J  | 平成4（1992）年11月28日  | 20-21 | 男  |

本稿では、老年層の代表としては下諏訪町方言の伝統的特徴を持つと考えられるC氏によるデータを、若年層の代表としてはJ氏のデータを用いる。

### 4. 語音の特徴

アクセントについて述べる前に下諏訪町方言の語音について簡単に述べておく。おおよそ東京方言に近いものの、以下のような特徴を持つ。本節では〔 〕は音声を表わす。

第一に、連母音 /ai/ は原則として融合して /eɾ/ となる。また、/oi/ が融合して /eɾ/、/ui/ が融合して /iɾ/ となることもあるが、/ai/ のように必ず融合するというものではない。例としては、[de:kuɾ]（大工）、[me:ruɾ]（参る）、[ake:]（赤い）。[ose:]（遅い）、

[wari:] (悪い)。/wai/ は融合すると /wer/ となる。例としては、[jowe:] (弱い)。

第二に、狭母音は、無声子音に挟まれたときや無声子音の後の語末で、無声化することがある。

第三に、老年層には語中に両唇接近音を伴う [wo] の音がある。例としては、[kawo] (顔)、[ciwo] (塩)、[uwo] (魚)。またこの音の後に /i/ が来た /woi/ が融合したときには [we:] となる。例としては、[awe:] (青い)。

第四に、ガ行鼻濁音 [ŋ] が比較的若い人にもあるが、若年層では使われないこともある。

## 5. 下諏訪町方言のアクセントの特徴

これ以降、東京方言との差異を中心に、下諏訪町方言のアクセントの特徴を述べる。東京方言の資料としては平山輝男編 (1960) 『全国アクセント辞典』および秋永一枝編・金田一春彦監修 (2010) 『新明解日本語アクセント辞典 CDつき』を使用する。

/ / 内に示した音韻表記において、○は拍を、] は下がり目を、= は下がり目がないことを表わす。音声表記において、○は拍を、[ は上昇を、] は下降を表わす。なお、音声表記であることを表わす [ ] は断りのない限り省くことによってこれを示す。

### 5.1. 名詞

下諏訪町方言のアクセント体系は東京式アクセントに属する。東京方言同様、下がり目の有無と位置による拍数 + 1 の型を持つ ( $P_n = n + 1$ )。

拍数ごとのアクセント型を一覧にすると表1のとおりである。

表1 下諏訪町方言のアクセント型

| 型\拍数 | 1           | 2            | 3              | 4                | 5                  |
|------|-------------|--------------|----------------|------------------|--------------------|
| 平板型  | /エ=/<br>(柄) | /アメ=/<br>(飴) | /アクビ=/<br>(欠伸) | /トモダチ=/<br>(友達)  | /ニホンガミ=/<br>(日本髪)  |
| 尾高型  |             | /イシ]/<br>(石) | /アタマ]/<br>(頭)  | /オトート]/<br>(弟)   | /ケーサツショ]/<br>(警察署) |
| 中一高型 |             |              | /アサ]ヒ/<br>(朝日) | /ウグ]イス/<br>(鶯)   | /シケ]ンカン/<br>(試験官)  |
| 中二高型 |             |              |                | /ミズウ]ミ/<br>(湖)   | /オナイ]ドシ/<br>(同い年)  |
| 中三高型 |             |              |                |                  | /ニワカア]メ/<br>(にわか雨) |
| 頭高型  | /エ]/<br>(絵) | /ア]ト/<br>(跡) | /カ]ブト/<br>(兜)  | /フ]ジサン/<br>(富士山) | /ニ]サンニチ/<br>(二三日)  |

名詞の各アクセント型への所属語は稿末の付表1から付表5のとおりである。

名詞に付属語が接したときのアクセントは付表6のとおりである。

尾高型の語は助詞-ノがついたときに下がり目が消えるが、「一」(イチ)「二つ」(フタツ)「三人」(ミッタリ)など助詞-ノがついたときにも下がり目が消えないものがある。付表においてこの二者は区別して示した。

名詞のアクセントを東京方言と比較すると、次のような特徴がある。

第一に、東京方言では類の対応から外れている語が類から外れていない場合がある。「矢」(1拍2類)は東京では/ヤ]/であるが、下諏訪町では/ヤ=/である。2拍3類の「雲」と5類の「蜘蛛」は東京ではいずれも/ク]モ/になっているが、下諏訪町では/クモ]/(雲)と/ク]モ/(蜘蛛)で対立がある。

第二に、3拍名詞4類と5類に中高型の語が東京方言より多くある。4類に、五つ・紅葉・蕨。5類に、朝日・油・命・心・姿・涙・柱・火箸・枕。

## 5.2. 動詞

動詞には基本的に平板型と起伏型の2つの型がある。ただし、終止形では、3拍起伏型で2拍目に特殊拍を持つものは頭高型となり、型は3つになる。一覧にすると表2のとおりである。

表2 動詞のアクセント型

| 型\拍数 | 2          | 3            | 4             |
|------|------------|--------------|---------------|
| 平板型  | /キル=/ (着る) | /カリル=/ (借りる) | /カサネル=/ (重ねる) |
| 起伏型  | /デ]ル/ (出る) | /オキ]ル/ (起きる) | /アツメ]ル/ (集める) |
|      |            | /ケ]ール/ (帰る)  |               |

活用形や付属語の接した形は稿末の付表7から付表9のとおりである。所属語は付表10に示す。

### 5.2.1. 否定形

起伏型動詞の否定形は、デ[ネ]ー (出ない)、サ[サネ]ー (刺さない) のように/ネ/の後に下がり目がある。東京方言では[デ]ナイ、サ[サ]ナイである。なお、平板型動詞の否定形はキ[ネー (着ない)、ケ[サネー (消さない) であり、東京方言のキ[ナイ、ケ[サナイと変わらない。

過去否定の-ナンダは、平板型動詞に接するときはキ[ナ]ンダ、ケ[サナ]ンダのように/ナ/の後に下がり目があり、起伏型動詞に接するときは[デ]ナンダ、サ[サ]ナンダのよ

うに /ナ/ の前に下がり目がある。

### 5.2.2. 補助動詞の-オク

動詞の「置く」は平板型であるが、これが補助動詞になるとキ[テ オ]ク（着ておく）のように /オ/ の後に下がり目が来る。-テオクの縮約形-トクについても同様である。表3のとおりである。

表3 補助動詞テオクのアクセント型

| 型\拍数 | 2                 | 3                    | 4                      |
|------|-------------------|----------------------|------------------------|
| 平板型  | キ[テ オ]ク<br>キ[ト]ク  | カ[リテ オ]ク<br>カ[リト]ク   | カ[サネテ オ]ク<br>カ[サネト]ク   |
| 起伏型  | [デ]テ オ]ク<br>[デ]トク | [オ]キテ オ]ク<br>[オ]キト]ク | ア[ツ]メテ オ]ク<br>ア[ツ]メト]ク |

これは若年層においても同様である。

### 5.3. 形容詞

形容詞には起伏型と平板型の2つの型がある。一覧にすると表4のとおりである。

表4 形容詞のアクセント型

| 型\拍数 | 2          | 3           | 4             |
|------|------------|-------------|---------------|
| 平板型  |            | /アケー=/ (赤い) | /トートイ=/ (尊い)  |
| 起伏型  | /ネー-/ (無い) | /タケー-/ (高い) | /クワシ]ー/ (詳しい) |

活用形や付属語の接した形は稿末の付表11のとおりである。所属語は付表12に示す。

#### 5.3.1. 連用形-タ

平板型形容詞の連用形に-タが接した形は、東京方言ではア[カ]カッタ（赤かった）のように語幹の後に下がり目がある。下諏訪町方言においてはア[カカッ]タ（赤かった）ト[ートカッ]タ（尊かった）のように、/カッ/ の後に下がり目が来る。東京方言よりも1拍後ということになる。

なお過去推量の-ツラも同様で、ア[カカッ]ツラ（赤かっただろう）ト[ートカッ]ツラ（尊かっただろう）のようになる。

起伏型形容詞の連用形-タは[タ]カカッタ（高かった）ク[ワ]シカッタ（詳しくかった）のように語幹の後ろから2番目の拍の後に下がり目が来る。ただし語幹が1拍のものには語幹の後ろから2番目の拍がないので、[ナ]カッタ（無かった）のように語幹の後に下がり目が来る。これは東京方言と同じである。

### 5.3.2. 平板型形容詞終止形-付属語

東京方言では平板型形容詞に助詞-カ（疑問）が接したとき、下がり目が1拍前に移動しア[カ]イカ（赤いか）のようになる。

下諏訪町方言においてはこの移動が起こらない。ア[ケー]カ（赤いか）ト[ートイ]カ（尊いか）のように下がり目は-カの直前である。これは-ゾ（強意）-デ（理由）-ラ（推量）でも同様である。

したがってたとえば「暑い」と「厚い」は-カが接すると東京方言ではどちらもア[ツ]イカとなって中和するが、下諏訪町方言においてはア[ツ]イカ（熱いか）とア[ツイ]カ（厚いか）となり、区別を失わない。母音が融合して長母音になっても、ア[ケー]カ（赤いか）のように下がり目の位置は変わらない。

これは若年層においても同様である。

## 6. 年代差

以上、1937（昭和12）年生まれのC氏のデータを代表として、伝統的な下諏訪町方言のアクセントの特徴を述べてきた。これ以降は1992（平成4）年生まれのJ氏のデータを若年層の代表として、二者を比較して世代差を明らかにしたい。

### 6.1. 名詞

3拍名詞4類35語と5類16語の計51語のアクセントを、9名の話者に調査した結果を示したのが図2である。図2はこの51語のうち中高型になる名詞の数を、左から右に、話者の生年順に並べたものである。右端に参考としてこの51語のうち東京方言で中高型となる語の語数（平山輝男1957による）を示す。

この51語のうち、1937年生まれのC氏は12語が中高型であるが、1992年生まれのJ氏では3語である。中高型はより年齢の高い話者に多く、より年齢の低い話者には少ない。これは共通語化と考えられる。

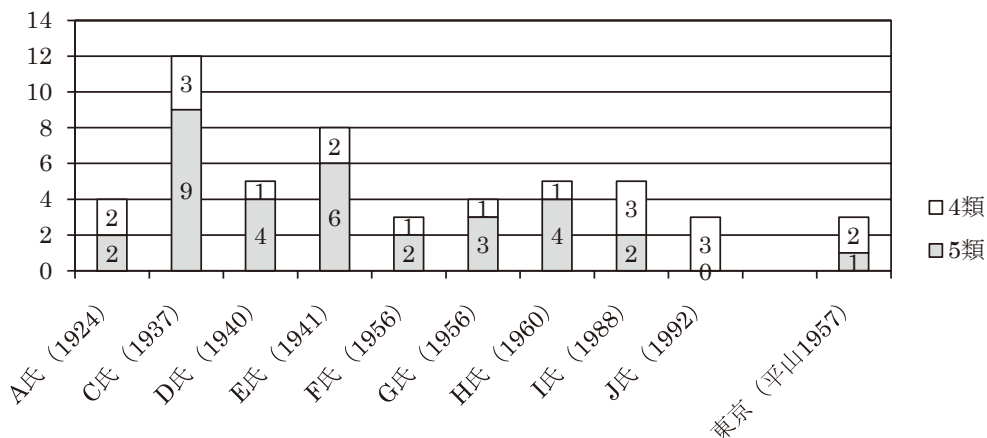


図2 3拍中高型の名詞の数（計 51 語中。括弧内は話者の生年。）

## 6.2. 動詞の否定形

老年層においては、起伏型動詞の否定形は、デ[ネー]ー（見ない）、サ[サネ]ー（切らない）のように /ネ/ の後に下がり目がある。若年層においては[デ]ネー、サ[サ]ネーのように /ネ/ の直前に下がり目が来るようになっている。東京方言でも[デ]ナイ、サ[サ]ナイであり、共通語化と考えられる。

なお、平板型動詞の否定形は老年層でも若年層でも変わらない。

過去否定の-ナンドのアクセントは老年層でも若年層でも変わらない。

## 6.3. 平板型動詞終止形-付属語

平板型動詞終止形に付属語が接したときに、老年層においてス[ルズ]ラ（推量）、ス[ルケ]ード（逆接）のように付属語の1拍目に下がり目が来るものは、若年層では付属語の直前に下がり目が来るようになっている。下がり目がス[ル]カのようなものと同じ位置になっているのである。

これを表に纏めると表5のとおりである。>は老年層と若年層とで異なることを表す。

表5 平板型動詞終止形-付属語のアクセント型の変化

| 老年層     | 若年層       |
|---------|-----------|
| ス[ルケ]ード | > ス[ル]ケード |
| ス[ルズ]ラ  | > ス[ル]ズラ  |
| ス[ル]カ   | ス[ル]カ     |

東京方言においても-ケレドはス[ル]ケレドのように直前に下がり目を持つ。ス[ル]ケードはこれに引かれたものであろう。-ズラに類似した語形は東京方言にはないが、こ

れも付属語の直前に下がり目が来る東京方言の特徴を受け入れて、同様に付属語の直前に下がり目が来るようになったものであろう。アクセントの共通語化が方言形式まで巻き込んで進行しているものと考えられる。

#### 6. 4. 形容詞連用形-タ

表6に形容詞連用形-タの老年層と若年層との型を比較して示す。参考として右端の欄に東京方言を示す。

表6 形容詞連用形-タのアクセント型の変化

|     | 老年層                           | 若年層                             | 東京方言                          |
|-----|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 平板型 | ○[○カッ]タ<br>○[○○カッ]タ           | >○[○]カッタ<br>>○[○○]カッタ           | ○[○]カッタ<br>○[○○]カッタ           |
| 起伏型 | [○]カッタ<br>[○]○カッタ<br>○[○]○カッタ | [○]カッタ<br>>○[○]カッタ<br>>○[○○]カッタ | [○]カッタ<br>[○]○カッタ<br>○[○]○カッタ |

元々は、起伏型では語幹の後ろから2番目の拍の後に下がり目があり、平板型では /カッ/ の後に下がり目が来ていた。このように連用形-タのアクセントが区別されていたが、若年層では両方とも語幹の終わりに下がり目が来るようになり、この区別は失われている。

### 7. おわりに

以上、長野県下諏訪町方言のアクセントについて報告した。下諏訪町方言のアクセントには以下のような特徴がある。

- 東京方言では類の対応から外れている語が類の対応から外れていない場合がある。
- 3拍名詞4類と5類に中高型の語が東京方言より多くある。
- 起伏型動詞の否定形はデ[ネ]ー（出ない）、サ[サネ]ー（刺さない）のように /ネ/ の後に下がり目がある。
- 平板型形容詞の連用形-タはア[カカッ]タのように /カッ/ の後に下がり目がある。
- 平板型形容詞の終止形に-カ（疑問）などの付属語が接したとき、ア[ケー]カのように下がり目はその付属語の前である。
- 本動詞の「置く」は平板型だが、補助動詞の-オクはキ[テ オ]ク（着ておく）のように起伏型になる。縮約形の-トクもまたキ[ト]クのように起伏型になる。

若年層との比較により、共通語化によってa.からd.までの特徴が失われつつあることを指摘した。また共通語化は-ズラ（推量）-ケード（逆接）など方言形式のアクセントまで巻き込んで進行していることを指摘した。

一方e.およびf.の方言的特徴は若年層においても保たれていることが明らかになった。

現在未調査の形式、また複合語規則等については今後の課題としたい。

**注**（参考サイトは全て下諏訪町の公式サイト。最終アクセスは 2015 年 9 月 20 日 UTC+9。）

- （１）『下諏訪町誌 民俗編』の類別語彙は、本研究で用いた平山輝男（1957）所収の「音調調査語彙」581 語とほぼ等しい。
- （２）「沿革」<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/town-intro/enkaku.html>
- （３）「統計情報」<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/town-intro/toukei/>
- （４）「産業」<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/town-intro/sangyo.html>

## 参考文献

- 青木千代吉（1987）「長野県方言の特質」『学海 3』上田女子短期大学（pp. 1-17）
- 秋永一枝編・金田一春彦監修（2010）『新明解日本語アクセント辞典 CDつき』三省堂
- 岩波泰明・藪原繁里（2000）「第十四章 方言」下諏訪町誌民俗編編集委員会編『下諏訪町誌 民俗編』下諏訪町（pp. 763-810）
- 田中宣廣（2005）『付属語アクセントからみた日本語アクセントの構造』おうふう
- 都竹通年雄（1949）「日本語の方言区分けと新潟県方言」『季刊国語（3-1）』群馬国語文化研究所（『都竹通年雄著作集【第1巻】音韻・方言研究篇』（ひつじ書房、1994）所収）
- 長野県編（1992）『長野県史 方言編』長野県史刊行会
- 平山輝男（1957）『日本語音調の研究』明治書院
- 平山輝男編（1960）『全国アクセント辞典』東京堂
- 馬瀬良雄（1971）『信州の方言』第一法規
- （1983）「長野県の方言」『講座方言学 6—中部地方の方言—』国書刊行会（pp. 55-95）
- （1992）「長野県方言」『現代日本語方言大辞典 第一巻』明治書院（pp. 167-177）
- （2003）『信州のことば 21世紀への文化遺産』信濃毎日新聞社

## 付表

付表1 1拍名詞

| 音調型         | アクセント型   | 所属語                                                                      |
|-------------|----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 〔○〕<br>○〔ガ〕 | /○=/<br> | 〈1類〉柄・蚊・毛・子・血・戸・実・身 〈2類〉名・葉・日・矢                                          |
| 〔○〕<br>〔○〕ガ | /○]/<br> | 〈1類〉帆・世 〈2類〉藻 〈3類〉絵・尾・木・粉・酢・田・手・菜・荷・根・野・火・穂・目・芽・湯・夜・輪 〈その他〉九(ク)・五・四(シ)・二 |

付表2 2拍名詞

| 音調型                    | アクセント型    | 所属語                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○〔○〕<br>○〔○〕ガ          | /○○=/<br> | 〈1類〉飴・蟻・烏賊・魚・牛・梅・枝・海老・顔・柿・風・金(カネ)・壁・釜・雉子・傷・霧・桐・釘・口・首・腰・此れ・酒・笹・里・皿・鋤・杉・鈴・裾・底・滝・竹・塵・爪・虎・鳥・庭・布・箱・端・鼻・羽・髭・膝・水・道 〈2類〉北・寺・梨・人 〈3類〉岸 〈その他〉三                                                                                    |
| ○〔○〕<br>○〔○〕ガ<br>○〔○〕ノ | /○○]/<br> | 〈1類〉瘡 〈2類〉痣・石・岩・歌・音・垣(カキ)・紙・川・鞍・旅・弦・夏・橋・旗・肘・昼・冬・町・胸・村・雪 〈3類〉足・網・泡・家・池・犬・色・腕・馬・裏・鬼・鍵・髪・瓶(カメ)・草・櫛・靴・雲・倉・栗・事・竿・坂・塩・炭・月・土・波・縄・糠・蚤・花・骨・山・綿 〈5類〉声 〈その他〉伊那(地名)・木曽(地名)・佐久(地名)・ズク(根気、やる気)<br>○〔○〕ノになるもの: 〈その他〉一・七(ヒチ)・諏訪(地名)・八・六 |
| 〔○〕○<br>〔○〕○ガ          | /○]○/<br> | 〈2類〉下(シモ) 〈3類〉斧・神 〈4類〉跡・粟・息・糸・稲・今・臼・海・瓜・奥・帯・笠・糟・数・肩・鎌・上(カミ)・絹・錐・屑・鞘・空(ソラ)・種・仲・箸・針・船・松・麦 〈5類〉秋・汗・雨・鮎・桶・蔭・黍・蜘蛛・鯉・琴・猿・露・鶴・春・鮒・窓・婿・夜 〈その他〉九(キュー)・ゴタ(悪戯)・十(ジュー)・茅野(地名)・七(ナナ)・原(地名)・メタ(副詞「沢山」「もっと」)・四(ヨン)                     |

付表3 3拍名詞

| 音調型             | アクセント型     | 所属語                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○〔○○〕<br>○〔○○〕ガ | /○○○=/<br> | 〈1類〉欠伸・筏・錨・田舎・鰯・唾・己・飾り・霞・形・鱈・鎖・轡・車・煙・仔牛・氷・衣・魚・舅・印・使・机・隣・膠・寝言・初め・鼻血・庇・額・羊・瞳・南・都・昔・鎧 〈2類〉桜・翼・釣瓶・蜥蜴・扉・百足・寡 〈3類〉黄金・小麦・二十歳 〈4類〉鼬・梢・拳・畑・仏 〈5類〉簾・櫺 〈6類〉兎・鰻・狐・雀・背中・鼠・裸・雲雀・誠・操・蚯蚓 〈7類〉苺・後ろ・辛子・鯨・薬・盥 〈その他〉五日・小諸(地名)・チャット(副詞「早く」)・十日・ナカラ(副詞「ほぼ」)・二日・三日・六日・四日 |

|                          |        |                                                                                                                                                                            |
|--------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○[○○<br>○[○○]ガ<br>○[○○]ノ | /○○○]/ | 〈1類〉麓 〈2類〉間・小豆・毛抜き・昨夜(ユーベ) 〈3類〉力 〈4類〉頭・暇・恨み・扇・男・思い・面・女・鏡・仇・刀・言葉・暦・境・宝・剣・袴・鉢・林・東・光・響き・袋・筵 〈その他〉飯田(地名)・上田(地名)・四月・辰野(地名)・二月・マエデ(前)<br>○[○○]ノになるもの: 〈2類〉二人・二つ 〈その他〉三つ・四つ・六つ・八つ |
| ○[○]○<br>○[○]○ガ          | /○○]○/ | 〈1類〉着物 〈4類〉五つ・紅葉・蕨 〈5類〉朝日・油・命・心・姿・涙・柱・火箸・枕 〈その他〉五個目・長野(地名)・二個目・箕輪(地名)                                                                                                      |
| [○]○○<br>[○]○○ガ          | /○]○○/ | 〈2類〉靨・緑 〈3類〉岬 〈4類〉嵐・瓦 〈5類〉蝶・胡瓜・柘榴・錦 〈6類〉烏・高さ・狸 〈7類〉蚕・兜・便り・病 〈その他〉安曇(地名)・岡谷(地名)・九月・五月・須坂(地名)・富士見(地名)                                                                        |

付表4 4拍名詞

| 音調型                         | アクセント型  | 所属語                                                                                                                                |
|-----------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○[○○○<br>○[○○○]ガ            | /○○○○=  | 合鍵・愛嬌・居眠り・梅干し・鉛筆・王様・親指・雷・薬屋・小麦粉・ジスガリ(クロスズメバチ)・水泳・相談・友達・鶏・人参・引越し・松茸・右側                                                              |
| ○[○○○<br>○[○○○]ガ<br>○[○○○]ノ | /○○○○]/ | 足音・甘酒・生け花・妹・弟・上諏訪(地名)・剃刀・口笛・九日・蒟蒻・塩尻(地名)・七月(ヒチガツ)・十月・正月・洗濯・一日(ツイタチ)・縄跳び・八月・松本(地名)・餅搗き・物置き・蠟燭・六月<br>○[○○○]ノになるもの: 三人(ミッター)・四人(ヨッター) |
| ○[○○]○<br>○[○○]○ガ           | /○○○]○/ | 足跡・餡パン・一個目・猪・色紙・篝火・金持ち・唐傘・ガラス戸・九個目・三個目・十個目(ジュッコメ)・先生・玉葱・七個目・八個目(ハチコメ)・針金・湖・四個目・六個目                                                 |
| ○[○]○○<br>○[○]○○ガ           | /○○]○○/ | 朝顔・明後日・編み物・雨降り・飯山(地名)・一月・無花果・鶯・渦巻き・記念日・坂道・座布団・下諏訪(地名)・手袋・土曜日・蛤・歯磨き・蜜蜂・紫                                                            |
| [○]○○○<br>[○]○○○ガ           | /○]○○○/ | 赤ちゃん・一本・大町(地名)・音楽・蟬螂・兄弟・蝙蝠・コスモス・今月・三月・椎茸・親切・スリッパ・先月・チンガラ(片足飛び)・半袖・梟・富士山・待ち針・来月                                                     |

付表5 5拍名詞

| 音調型                            | アクセント型   | 所属語                                                                                                           |
|--------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○[○○○○<br>○[○○○○]ガ             | /○○○○○=  | 肋骨・お月様・思いやり・火炎瓶・変わり者・組み合わせ・契約書・再来月・参考書・醤油漬け・数日後・出来上がり・トビックラ(徒競走)・仲間入り・日本髪・走り書き・古本屋・真っ黒け・見積書・洋服屋・抛り所・レントゲン・忘れ物 |
| ○[○○○○<br>○[○○○○]ガ<br>○[○○○○]ノ | /○○○○○]/ | 動き方・警察署・研究所・十二月・消防署・大嫌い(デーキレー)・怒鳴り声                                                                           |

|                     |          |                                                                                                       |
|---------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○[○○○]○<br>○[○○○]○ガ | /○○○○]○/ | 忙しさ・炒り卵・男の子・女の子・飾り窓・辛子味噌・氷菓子・蛇の目傘・すまし汁・千羽鶴・月見蕎麦・生卵・錦鯉・にわか雨・歯磨き粉・民主主義                                  |
| ○[○○]○○<br>○[○○]○○ガ | /○○○]○○/ | 赤とんぼ・アンケート・閏年・大晦日・同い年・兜虫・軽井沢(地名)・粉葉・子守唄・四十雀・煙草入れ・知恵袋・チューリップ・ぬいぐるみ・喉仏・針鼠・春霞・雛祭り・昼休み・蛇苺・掘り炬燵・丸坊主・物語・山登り |
| ○[○]○○○<br>○[○]○○○ガ | /○○]○○○/ | 衣紋掛け・紀元前・試験官・時代劇・知らんぷり・一欠片・無精髭・目分量                                                                    |
| [○]○○○○<br>[○]○○○○ガ | /○]○○○○/ | アクセント・金閣寺・コンセント・善光寺・東大寺・二三日・半ズボン                                                                      |

付表6 名詞に付属語が接したときの型

| アクセント型                                 | ガ <sup>*1</sup>                                  | ノ                                                | カラ                                                    | マデ <sup>*2</sup>                                           |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| /○=/<br>/○]/                           | エ[ガ<br>[エ]ガ                                      | エ[ノ<br>[エ]ノ                                      | エ[カラ<br>[エ]カラ                                         | エ[マ]デ<br>[エ]マ]デ                                            |
| /○○=/<br>/○○]/                         | ア[メガ<br>イ[シ]ガ<br>イ[チ]ガ                           | ア[メノ<br>イ[シ]ノ<br>イ[チ]ノ                           | ア[メカラ<br>イ[シ]カラ<br>イ[チ]カラ                             | ア[メマ]デ<br>イ[シ]マ]デ<br>イ[チ]マ]デ                               |
| /○]○/<br>/○○○=/<br>/○○○]/              | [ア]トガ<br>ア[クビガ<br>ア[タマ]ガ<br>フ[タツ]ガ               | [ア]トノ<br>ア[クビノ<br>ア[タマ]ノ<br>フ[タツ]ノ               | [ア]トカラ<br>ア[クビカラ<br>ア[タマ]カラ<br>フ[タツ]カラ                | [ア]トマ]デ<br>ア[クビマ]デ<br>ア[タマ]マ]デ<br>フ[タツ]マ]デ                 |
| /○○]○/<br>/○]○○/<br>/○○○○=/<br>/○○○○]/ | ア[サ]ヒガ<br>[カ]プトガ<br>ト[モダチガ<br>オ[トート]ガ<br>ミッ[タリ]ガ | ア[サ]ヒノ<br>[カ]プトノ<br>ト[モダチノ<br>オ[トート]ノ<br>ミッ[タリ]ノ | ア[サ]ヒカラ<br>[カ]プトカラ<br>ト[モダチカラ<br>オ[トート]カラ<br>ミッ[タリ]カラ | ア[サ]ヒマ]デ<br>[カ]プトマ]デ<br>ト[モダチマ]デ<br>オ[トート]マ]デ<br>ミッ[タリ]マ]デ |
| /○○○]○/<br>/○○]○○/<br>/○]○○○/          | ミ[ズウ]ミガ<br>ウ[グ]イスガ<br>[オ]ンガクガ                    | ミ[ズウ]ミノ<br>ウ[グ]イスノ<br>[オ]ンガクノ                    | ミ[ズウ]ミカラ<br>ウ[グ]イスカラ<br>[オ]ンガクカラ                      | ミ[ズウ]ミマ]デ<br>ウ[グ]イスマ]デ<br>[オ]ンガクマ]デ                        |

\*1 - ダも同様。 \*2 - ズラ(推量)も同様。

付表7 2拍動詞

| 活用形 | 接辞                       | 2拍5段平板   | 2拍1段(サ変)平板 | 2拍5段起伏    | 2拍1段(カ変)起伏 |
|-----|--------------------------|----------|------------|-----------|------------|
| 終止形 | -Ø                       | ケ[ス]     | キ[ル]       | [サ]ス      | [デ]ル       |
|     | -カ (疑問) <sup>*3</sup>    | ケ[ス]カ    | キ[ル]カ      | [サ]スカ     | [デ]ルカ      |
|     | -ズラ (推量) <sup>*4</sup>   | ケ[スズ]ラ   | キ[ルズ]ラ     | [サ]スズ]ラ   | [デ]ルズ]ラ    |
|     | -ケード (逆接)                | ケ[スケ]ード  | キ[ルケ]ード    | [サ]スケ]ード  | [デ]ルケ]ード   |
|     | -Ø                       | ケ[セ]     | キ[ロ]       | [サ]セ      | [デ]ロ       |
| 命令形 | -ヤ (強意)                  | ケ[セ]ヤ    | キ[ロ]ヤ      | [サ]セヤ     | [デ]ロヤ      |
|     | -タ                       | ケ[シタ]    | キ[タ]       | [サ]シタ     | [デ]タ       |
| 連用形 | -ツラ (過去推量) <sup>*5</sup> | ケ[シツ]ラ   | キ[ツ]ラ      | [サ]シツ]ラ   | [デ]ツラ      |
|     | -テ オク                    | ケ[シテ オ]ク | キ[テ オ]ク    | [サ]シテ オ]ク | [デ]テ オ]ク   |
|     | -ネー (否定)                 | ケ[サネー]   | キ[ネー]      | サ[サネー]    | デ[ネー]      |
|     | -ナンダ (過去否定)              | ケ[サナ]ンダ  | キ[ナ]ンダ     | サ[サ]ナンダ   | [デ]ナンダ     |
|     | -レル (受身) <sup>*6</sup>   | ケ[サレル]   | キ[ラレル]     | サ[サレ]ル    | デ[ラレ]ル     |

付表8 3拍動詞

| 活用形 | 接辞                       | 3拍5段平板    | 3拍1段平板   | 3拍5段起伏 (甲) | 3拍5段起伏 (乙) | 3拍1段起伏    |
|-----|--------------------------|-----------|----------|------------|------------|-----------|
| 終止形 | -Ø                       | ア[ソブ]     | カ[リル]    | ウ[ゴ]ク      | [ケ]ール      | オ[キ]ル     |
|     | -カ (疑問) <sup>*3</sup>    | ア[ソブ]カ    | カ[リル]カ   | ウ[ゴ]クカ     | [ケ]ールカ     | オ[キ]ルカ    |
|     | -ズラ (推量) <sup>*4</sup>   | ア[ソブズ]ラ   | カ[リルズ]ラ  | ウ[ゴ]クズ]ラ   | [ケ]ールズ]ラ   | オ[キ]ルズ]ラ  |
|     | -ケード (逆接)                | ア[ソブケ]ード  | カ[リルケ]ード | ウ[ゴ]クケ]ード  | [ケ]ールケ]ード  | オ[キ]ルケ]ード |
|     | -Ø                       | ア[ソベ]     | カ[リロ]    | ウ[ゴ]ケ      | [ケ]ーレ      | オ[キ]ロ     |
| 命令形 | -ヤ (強意)                  | ア[ソベ]ヤ    | カ[リロ]ヤ   | ウ[ゴ]ケヤ     | [ケ]ーレヤ     | オ[キ]ロヤ    |
|     | -タ                       | ア[ソンダ]    | カ[リタ]    | ウ[ゴ]イタ     | [ケ]ーツタ     | [オ]キタ     |
| 連用形 | -ツラ (過去推量) <sup>*5</sup> | ア[ソンズ]ラ   | カ[リツ]ラ   | ウ[ゴ]イツ]ラ   | [ケ]ーツツ]ラ   | [オ]キツ]ラ   |
|     | -テ オク                    | ア[ソンデ オ]ク | カ[リテ オ]ク | ウ[ゴ]イテ オ]ク | [ケ]ーツテ オ]ク | [オ]キテ オ]ク |
|     | -ネー (否定)                 | ア[ソバネー]   | カ[リネー]   | ウ[ゴカネー]    | ケ[ーラネー]    | オ[キネー]    |
|     | -ナンダ (過去否定)              | ア[ソバナ]ンダ  | カ[リナ]ンダ  | ウ[ゴカ]ナンダ   | ケ[ーラ]ナンダ   | オ[キ]ナンダ   |
|     | -レル (受身) <sup>*6</sup>   | ア[ソバレル]   | カ[リラレル]  | ウ[ゴカレ]ル    | ケ[ーラレ]ル    | オ[キラレ]ル   |

付表9 4拍動詞

| 活用形 | 接辞                       | 4拍5段平板     | 4拍1段平板    | 4拍5段起伏      | 4拍1段起伏     |
|-----|--------------------------|------------|-----------|-------------|------------|
| 終止形 | - Ø                      | シ[タガウ]     | カ[サネル]    | ア[ラワ]ス      | ア[ツメ]ル     |
|     | -カ (疑問) <sup>*3</sup>    | シ[タガウ]カ    | カ[サネル]カ   | ア[ラワ]スカ     | ア[ツメ]ルカ    |
|     | -ズラ (推量) <sup>*4</sup>   | シ[タガウズ]ラ   | カ[サネルズ]ラ  | ア[ラワ]スズ]ラ   | ア[ツメ]ルズ]ラ  |
|     | -ケード (逆接)                | シ[タガウケ]ード  | カ[サネルケ]ード | ア[ラワ]スケ]ード  | ア[ツメ]ルケ]ード |
| 命令形 | - Ø                      | シ[タガエ]     | カ[サネロ]    | ア[ラワ]セ      | ア[ツメ]ロ     |
|     | -ヤ (強意)                  | シ[タガエ]ヤ    | カ[サネロ]ヤ   | ア[ラワ]セヤ     | ア[ツメ]ロヤ    |
| 連用形 | -タ                       | シ[タガッタ]    | カ[サネタ]    | ア[ラワ]シタ     | ア[ツ]メタ     |
|     | -ツラ (過去推量) <sup>*5</sup> | シ[タガッツ]ラ   | カ[サネツ]ラ   | ア[ラワ]シツ]ラ   | ア[ツ]メツ]ラ   |
|     | -テ オク                    | シ[タガッテ オ]ク | カ[サネテ オ]ク | ア[ラワ]シテ オ]ク | ア[ツ]メテ オ]ク |
|     | -ネー (否定)                 | シ[タガワネー]   | カ[サネネー]   | ア[ラワサネー]    | ア[ツメネー]    |
| 未然形 | -ナンダ (過去否定)              | シ[タガワナ]ンダ  | カ[サネナ]ンダ  | ア[ラワサ]ナンダ   | ア[ツメ]ナンダ   |
|     | -レル (受身) <sup>*6</sup>   | シ[タガワレル]   | カ[サネラレル]  | ア[ラワサレ]ル    | ア[ツメラレ]ル   |

<sup>\*3</sup> -ゾ (強意) -デ (理由) -ラ (推量) も同様。 <sup>\*4</sup> -ジャヤー (御誘) も同様。 <sup>\*5</sup> -トク (-テ オクの縮約) も同様。 <sup>\*6</sup> -セル (使役) も同様。

付表10 所属語 (動詞)

|            |                                                                                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2拍5段平板     | 〈1類A〉言う・行く・産む・売る・追う・置く・押す・買う・貸す・刈る・聞く・汲む・消す・咲く・敷く・死ぬ・知る・吸う・空く・添う・散る・突く・継ぐ・積む・釣る・飛ぶ・泣く・鳴る・塗る・抜く・乗る・張る・弾く・引く・減る・巻く・増す・揉む・止む・遣る・割る                                                     |
| 2拍1段サ変平板   | 〈1類B〉居る・着る・為る・似る・煮る・寝る                                                                                                                                                              |
| 2拍5段起伏     | 〈2類A〉会う・合う・編む・打つ・討つ・飼う・書く・勝つ・噛む・切る・食う・蹴る・漕ぐ・裂く・刺す・住む・刺る・立つ・着く・取る・縫う・脱ぐ・練る・飲む・這う・吐く・剥ぐ・吹く・伏す・降る・乾す・掘る・蒔く・待つ・病む・読む 〈その他〉カウ (鍵などを掛ける)                                                  |
| 2拍1段カ変起伏   | 〈2類B〉来る・出る・見る                                                                                                                                                                       |
| 3拍5段平板     | 〈1類A〉上がる・遊ぶ・当たる・洗う・浮かぶ・歌う・送る・飾る・変わる・嫌う・削る・探す・探る・沈む・進む・並ぶ・握る・運ぶ・巡る・讀る・渡る 〈2類A〉遣う                                                                                                     |
| 3拍1段平板     | 〈1類B〉明ける・植える・植える・借りる・枯れる・消える・捨てる・染める・腫れる・負ける・燃える 〈その他〉カセル (貸す)                                                                                                                      |
| 3拍5段起伏 (甲) | 〈1類A〉語る・悟る・慕う・誇る 〈2類A〉余る・祈る・祝う・動く・移る・恨む・選ぶ・起こす・落とす・思う・限る・乾く・崩す・砕く・曇る・縛る・反く・叩く・頼む・作る・包む・詰まる・照らす・懐く・悩む・習う・憎む・濁る・睨む・僻む・光る・許す・生きる・起きる・落ちる・掛ける・覚める・過ぎる・建てる・付ける・溶ける・撫でる・逃げる・晴れる 〈3類〉歩く・隠す |
| 3拍5段起伏 (乙) | 〈2類A〉帰る (ケール)・通る 〈3類〉這入る (ヘール)・参る                                                                                                                                                   |
| 3拍1段起伏     | 〈2類B〉生きる・起きる・落ちる・掛ける・覚める・過ぎる・建てる・付ける・溶ける・撫でる・逃げる・晴れる 〈その他〉飽きる・漏れる                                                                                                                   |
| 4拍5段平板     | 〈1類A〉窺う・疑う・従う・従う・養う                                                                                                                                                                 |
| 4拍1段平板     | 〈1類B〉与える・重ねる・並べる・始める                                                                                                                                                                |
| 4拍5段起伏     | 〈1類A〉嘲る・憐れむ・悲しむ・貪る 〈2類A〉集まる・怪しむ・表わす・偽る・驚く・喜ぶ                                                                                                                                        |
| 4拍1段起伏     | 〈1類B〉唱える・亡びる 〈2類B〉集める・諫める・隠れる・数える・答える・調べる・助ける・流れる・離れる・隔てる                                                                                                                           |

付表 11 形容詞

| 活用形 | 接辞          | 2拍起伏    | 3拍平板     | 3拍起伏     | 4拍平板       | 4拍起伏       |
|-----|-------------|---------|----------|----------|------------|------------|
| 終止形 | - の         | [ネ]ー    | ア[ケー]    | タ[ケ]ー    | ト[ー]トイ     | ク[ワシ]ー     |
|     | - カ (疑問)*8  | [ネ]ーカ   | ア[ケー]カ   | タ[ケ]ーカ   | ト[ー]トイ]カ   | ク[ワシ]ーカ    |
|     | - ズラ (推量)   | [ネ]ーズ]ラ | ア[ケーズ]ラ  | タ[ケ]ーズ]ラ | ト[ー]トイズ]ラ  | ク[ワシ]ーズ]ラ  |
|     | - ジャー (感嘆)  | [ネ]ージャー | ア[ケー]ジャー | タ[ケ]ージャー | ト[ー]トイ]ジャー | ク[ワシ]ージャー  |
|     | - ケード (逆接)  | [ネ]ーケード | ア[ケーケ]ード | タ[ケ]ーケード | ト[ー]トイケ]ード | ク[ワシ]ーケ]ード |
| 音便形 | - タ         | [ナ]カッタ  | ア[カカツ]タ  | [タ]カカッタ  | ト[ー]トカツ]タ  | ク[ワ]シカッタ   |
|     | - ツラ (過去推量) | [ナ]カッツラ | ア[カカツ]ツラ | [タ]カカッツラ | ト[ー]トカツ]ツラ | ク[ワ]シカッツラ  |
| 連用形 | - の ナル      | [ナ]クナ]ル | ア[カクナ]ル  | [タ]カクナ]ル | ト[ー]トクナ]ル  | ク[ワ]シクナ]ル  |

\*8 - ズ (強意) - デ (理由) - ラ (推量) も同様。

付表 12 所属語 (形容詞)

|      |                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2拍起伏 | 無い (ネー)・良い (イー)                                                                                                        |
| 3拍平板 | 〈1類〉赤い (アケー)・浅い (アセー)・厚い・甘い・粗い (アレー)・荒い (アレー)・薄い・遅い (オセー)・重い・堅い (カデー)・軽い・暗い (クレー)・遠い                                   |
| 3拍起伏 | 〈2類〉熱い・暑い・多い・黒い・白い・高い (タケー)・狭い (セメー)・近い (チケー)・強い (ツエー)・長い (ナデー)・早い (ハエー)・低い・広い・深い (フケー)・古い・弱い (ヨウエー)・若い (ワケー)・悪い (ワリー) |
| 4拍平板 | 〈1類〉尊い・宜しい 〈2類〉卑しい                                                                                                     |
| 4拍起伏 | 〈1類〉危うい・悲しい・空しい 〈2類〉詳しい・親しい・涼しい・正しい・久しい・等しい                                                                            |